

令和 5 年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」

大阪市立東井高野小学校

令和 6 年 3 月

## 大阪市立東井高野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標

## 現状と課題

○全国学力・学習状況調査、大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙の「学校のきまりを守っている」「人の役に立ちたい」「自分には良いところがある」という規範意識、自己肯定感には課題がある。【安全・安心な教育の推進】【未来を切り拓く学力・体力の向上】の向上にはキャリア教育の充実を図り、一人ひとりの良さを伸ばす取組みをする必要がある。

○生活指導上の課題として不登校児童問題がある。家庭や関係諸機関と連携する必要がある。また、いじめに関する意識は「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の肯定的な回答は充分ではない。児童のいじめに対する意識の高揚が必要である。

○大阪市小学校学力経年調査の結果の標準化得点では95～105ポイントの中で推移し、また、全国学力・学習状況調査でも全国平均とは開きがあり、学習内容の定着、基礎・基本の定着に課題があることがわかる。自主学習の確立や読書活動を充実していく必要がある。また、無回答率の多さからも学習に対して無関心である児童だけでなく、さらに家庭も無関心であることが多いことも考えられる。そこで、「わかる」授業を積み重ねることで学習に対する意欲や関心を高めることが大切であると考えられる。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点では男女とも全国平均を上回っている。これまでの体育科学習の積み重ねの成果と考えられる。また、広い運動場や一部の芝生化など、これらを活用して日頃から遊び・運動に親しむ機会が多いことと、地域での活動が功を奏している。一方で下回っている種目もあるため、それらが課題として考えられる。

○教育活動にICT機器を導入し授業や学校活動に活用してきた。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組の一環として一人一台端末を授業配信や生活指導に学校や家庭で使用している。しかし、一人一台端末以外のICT機器の有効的な活用方法や一人一台端末の使用方法、情報モラルなどの課題があり、今後は、より良い活用を構築することが必要である。

○教育委員会と学校がともに取組を着実に推進し、教職員の長時間勤務の解消を通じ、教職員が子どもたちの前で健康で生き生きと働くことができ、子どもたち一人ひとりに向き合う時間の確保が課題である。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- キャリア教育の充実に向け、児童の発達段階に応じ社会見学や出前授業を実施し、令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持ってていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- 校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習(予習・復習など)をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を55%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも全国平均を上回る。
- 令和7年度末の校内調査における「正しく手洗いをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「いつもハンカチを身につけている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を100%にする。
- 令和7年度末には、「ゆとりの日」を週1回以上設定する。学校閉学日については、夏季・冬季休業中に3日以上設定する。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校が連携をすることで、読書環境の整備と読書週間の形成を図る。
- 令和7年度末の校内保護者調査における「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」に対して肯定的に回答する保護者の割合を95%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 【全市共通目標（小学校）】

- 大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

#### 【学校園の年度目標】

- 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合100%をめざす。
- 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査94.7%）以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査96.8%）にする。
- キャリア教育の充実に向け、児童の発達段階に応じ社会見学や出前授業を実施し、大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。
- 校内調査における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査97.8%）にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 【全市共通目標（小学校）】

- 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度水準以上（昨年度同調査41%）にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全市比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- 大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（昨年度同調査79.4%）以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を72%以上にする。

#### 【学校園の年度目標】

- 校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合100%をめざす。
- 校内調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習など）をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも全国平均を上回るようにする。
- 校内調査における「正しく手洗いをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査97.1%）にする。
- 校内調査における「いつもハンカチを身につけている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査94%）以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 【全市共通目標（小学校）】

- 校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を前年度（前年度同調査82.9%）以上にする。
- 「ゆとりの日」を週1回以上設定する。年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に3日以上設定する。

#### 【学校園の年度目標】

- 大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校が連携をすることで、読書環境の整備と読書習慣の形成を図る。
- 令和7年度末の校内保護者調査における「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」に対して肯定的に回答する保護者の割合を前年度水準（前年度同調査97.3%）にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

#### 【安全・安心な教育の推進】

##### 【全市共通目標（小・中学校）】

- 教育活動のあらゆる機会を通して「いじめを許さない」という姿勢で指導を徹底してきた。校内調査においても「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は88.9%であり、目標(87%以上)を達成できた。次年度も学期ごとにいじめチェックシートの実施や「いじめ（いのち）について考える日」などの取り組みを通して、継続指導を推進する。
- 校内調査において、不登校児童の在籍比率は増加したが、複数名の前年度不登校児童で改善がみられた。次年度も本校の重要課題として、全職員で取り組む必要がある。

##### 【学校の年度目標】

- 校内調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合が92.3%であり、昨年度同調査(91.0%)を上回っており目標値(100%)に近づくことができた。
- 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的な回答が96.0%であり、昨年度同調査(94.7%)を上回っており目標を達成できた。
- 大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が84.2%であり、目標(80%以上)を達成できた。
- 大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が93.4%（前年度同調査96.8%）であり、前年度水準を若干下回る結果となった。
- 大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が87.3%であり、目標(89%以上)を達成することができなかった。
- 校内調査における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して肯定的に回答する児童の割合が97.6%であり、前年度(97.8%)と同等水準だった。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標については概ね目標通りに達成できた。次度以降も、さらに安全・安心な教育の推進に向けた取り組みの深化充実を図っていく。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

##### 【全市共通目標（小・中学校）】

- 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は49.7%で、前年度水準(昨年度同調査41%)を上回っており、目標を達成できた。
- 大阪市小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイントの向上に対し、上回った学年(1学年)、下回った学年(2学年)であり、目標は達成できなかった。
- 大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合は76.3%で、昨年度同調査(79.4%)を下回り、目標を達成できなかった。
- 大阪市小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が78.3%で、目標(75%以上)を達成できた。
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合は71.9%であり、目標(72%以上)を達成できなかった。

##### 【学校の年度目標】

- 校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が93.7%と非常に高かった。
- 大阪市小学校学力経年調査における「学校で出された宿題 以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習など）をしていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合は75.2%であり、目標(50%以上)を達成できた。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点は、昨年度に続き全国を上回り目標は達成できた。
- 校内調査における「正しく手洗いをしている」に対して肯定的に回答する児童の割合が96.5%（昨年度同調査97.1%）で昨年度と同等水準だった。
- 校内調査における「いつもハンカチを身につけている」に対して、肯定的に回答する児童の割合は86.6%で、昨年度同調査(85.4%)を上回っており目標を達成できた。
- 校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合は95.4%で、昨年度同調査(94.0%)を上回っており、目標を達成できた。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標については、体力向上や健康教育で目標以上に達成できた項目があった。一方、学力向上に向け学校での基礎学力の定着や自主学習のための家庭との連携などに課題があり、改善を図りながら継続指導をする必要がある。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

##### 【全市共通目標（小・中学校）】

- 校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合は88.0%であり、昨年度同調査(82.9%)を上回っており、目標を達成できた。
- 「ゆとりの日」を週1回実施し、夏季休業中に6日、冬季休業中に3日の閉学日を実施した。年次有給休暇を10日以上取得できた教職員の割合は93.3%であり、目標(80%以上)を達成できた。さらに、休業、休暇や勤務時間のことだけでなく、業務内容の精選など工夫をする必要がある。

##### 【学校園の年度目標】

- 大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合は73.4%であり、目標(80%以上)を達成できなかった。
- 年間3回の読書週間の設定や図書館ボランティア、地域の世も聞かせ隊とも連携し、読書環境の整備と読書習慣の形成は図ることができた。
- 校内保護者調査における学校は、学校だより・ホームページ等で、教育方針や教育活動の様子をわかりやすく伝えている。」に対して肯定的に回答する保護者の割合は94.7%であり前年度水準(前年度同調査97.3%)を保つことができた。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標については、ICT活用や働き方改革で目標以上に達成できた項目があった。しかし、児童の読書習慣の定着をはじめとした課題もあり、家庭・地域との連携をより充実させていく必要がある。

## 大阪市立東井高野小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標（小学校）</b></p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 87%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合 100%をめざす。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査 94.7%）以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査 96.8%）にする。</p> <p>○キャリア教育の充実に向け、児童の発達段階に応じ社会見学や出前授業を実施し、大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。</p> <p>○校内調査における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査 97.8%）にする</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向番号 1、安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>いじめ（いのち）について日々の学校生活の中で考える機会を設定し、「いじめはぜったいにいけないことだ」という意識を高める。</p>	B
<p><b>指標</b> 「いじめ（いのち）について考える日」を学期に1回設定し、「いじめはぜったいにいけないことだ」という意識の高揚を図る。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向番号 1、安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>児童会行事の充実、児童のたて割り（異学年交流）活動の充実を図り、児童にとって楽しい学校生活ができるようにする。</p>	A
<p><b>指標</b> 児童会を中心にはがんばったことや良いことを褒めて自己肯定感を高める週間を設置する。また、わかる授業や有意義な行事をすることで自他を認め合えるようにする。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向番号 1、安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>安全で安心な学校生活ができるようあらゆる機会（児童朝会や学級活動）を通して、規範意識の高揚を図る。</p>	B
<p><b>指標</b> 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査 94.7%）以上にする。</p>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向番号 2、豊かな心の育成】</b></p> <p>社会見学や出前授業で新しい知識を増やし、児童がキャリアを考える機会を策定する。また、将来の夢や目標を持ち、自己有用感を持つとともに自他を尊重する心を育む。</p>	B
<p><b>指標</b> 全学年で、社会見学や出前授業を年間 1 回以上実施する。また、学期毎や行事毎でキャリアパスポートや振り返りシートを活用する。</p>	
<p><b>取組内容⑤【基本的な方向番号 2、豊かな心の育成】</b></p> <p>体験学習の充実や系統立てた人権教育を通して、多様な価値観を知るとともに、互いに他を認め、人の気持ちを考えたり思いやったりする心を育む。</p>	A
<p><b>指標</b> 体験学習（車いす体験など）を取り入れた共生教育の充実を図る。また、人権教育年間指導計画に基づいた取り組みを、各学年学期に1回以上行い、年度末に成果と課題を共有する。</p>	

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 全市共通目標(小・中学校)

#### ○【取組内容①】参照

○前年度の不登校児童の在籍比率は2.2%であった。現在の在籍比率は2.7%であり、前年度より減少させることはできなかった。

○今年度は、昨年度より出席日数が増えている児童が複数名いた半面、出席日数が減少した児童もあり、改善の割合を増加させるには至らなかった。全体としては、一人一台端末の使用により、学校と連携を取りながら教育活動をすすめることもでき、改善の兆しがみられた。

### 学校園の年度目標

○校内調査(1月・全学年実施)における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合が92.3%であり、昨年度同調査(91.0%)を上回っており目標値(100%)に近づくことができた。

#### ○【取組内容③】参照

○大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が84.2%であり、目標(80%以上)を達成できた。学校生活の中で、たて割り班での活動や学級での係活動等の、自己有用感を高める取り組みが十分にできたことの結果と考えられる。

○大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が93.4%（前年度同調査96.8%）であり、前年度水準を若干下回る結果となった。

○大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が87.3%であり、目標(89%以上)を達成することができなかった。

○校内調査(1月・全学年実施)における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して肯定的に回答する児童の割合が97.6%であり、前年度(97.8%)と同等水準だった。

取組内容①各学期に“いじめ(いのち)について考える日”を設定し、児童朝会・児童集会・学級活動等において、いじめやいのちについての指導や啓発等を継続的にすることで、いじめについての意識を深めることができた。大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は88.9%であり、目標(87%以上)を達成できた。

取組内容②児童会活動の充実については、集会委員会を中心にたて割り班による児童集会を定期的に実施した。運動会などの学校行事を通して、児童会(代表委員会)を中心に開会式や閉会式を実施したり、運動会のスローガンを決めて運動会を盛り上げたりした。その他児童会を中心とした活動(全校遠足・卒業を祝う会等)を行い、運動会以降も学校全体を盛り上げていく活動を進めることができた。

取組内容③児童朝会や学級活動の時間を活用して、定期的に学校生活を安全・安心に過ごせるような働きかけや声掛けをしたその結果、大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的な回答が96.0%であり、昨年度同調査(94.7%)を上回っており目標を達成できた。

取組内容④年度当初に計画していた、全学年1回以上の社会見学や出前授業は、計画通り全て実施できた。また、必要に応じて、ゲストティーチャーを招聘した授業も実施した。1学期初めと、運動会・2学期末、学年末のキャリアパスポートでのふり返りも実施し、児童がキャリアを考える機会となった。

取組内容⑤車いす体験などの体験学習を、ほぼ計画通りに取り組むことができた。また、人権教育も、各学年が計画に基づき取り組み、成果と課題の共有を図ることもできている。さらに、日々の学校生活の中で、互いに他を認め、人の気持ちを考えたり思いやりする心の育成につなげることもできている。

## 次年度への改善点

### 全市共通目標(小・中学校)

- 【取組内容①】参照
- 次年度も、児童が不登校となる兆候を早期に発見し、全職員で共有できるようにする。
- 引き続き不登校児童の家庭と連携を取りながら、教育活動をすすめていく必要がある。

### 学校園の年度目標

- 次年度も、行事や学級活動、たて割り班活動などを通し、安全で安心な学校づくりの取り組みを積極的に推進する。
- 【取組内容③】参照
- 次年度も、継続指導をし、児童の自尊感情や自己肯定感を高める。
- 次年度も、豊かな経験を通して継続指導をし、自己有用感を高める。
- 次年度も、多様な活動を通して継続指導をし、夢や希望、将来の自己イメージの獲得に努める。
- 次年度も、継続指導をし、児童が自他を尊重できるように育む。

取組内容①次年度も全学期で「いじめ（いのち）について考える日」を設定し、それぞれについて全校で活動を計画・実施し、児童自らが“いじめ”について考え、絶対にしてはいけないという思いを持つための機会を設けることで、全校で“いじめは絶対にしてはいけない”という機運を高める活動を行っていく。

取組内容②次年度も、全校遠足を実施することで、たて割り班による活動（オリエンテーリング）を通して異学年間の交流を設け、高学年児童が低学年児童を勞わったり助けたりすることで自己肯定感を高め、低学年児童はそのような高学年の姿に接することで、高学年に向けて“自分もこうなりたい”という自己肯定感を高める機会とする。3学期は卒業を祝う会や児童会活動・集会活動を通して、一人ひとりの自己肯定感や自尊感情を高めていく。

取組内容③“学校のきまり”を周知徹底し、ルールを守ることの大切さや、きまりを守ることが一人ひとりの学校生活を円滑にすることを、児童朝会や学級活動で引き続き推進していく。さらに、校内調査における「学校のきまりを守っていますか」に対する最も肯定的な回答を高めることができるよう、次年度以降はより一層規範意識を高める活動を行っていく

取組内容④次年度も、児童がキャリアを考える機会となるよう年度計画を策定し、社会見学や出前授業等を実施する。これらのことを通して、児童自らが自己有用感を高めたり、将来への夢や希望を獲得したりする機会としていく。

取組内容⑤共生教育に関する体験活動や出前授業などの見直しを行い、より充実した学びの体験となるように計画を立案する必要がある。また日々の学校生活での出来事を大切にし、ふり返ることで、人の気持ちを考えたり思いやったりする心の育成に努めていく。

## 大阪市立東井高野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標（小学校）</b></p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度水準以上（昨年度同調査 41%）にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（昨年度同調査 79.4%）以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 72%以上にする。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合 100%をめざす。</p> <p>○校内調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習など）をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 50%以上にする。</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも全国平均を上回るようにする。</p> <p>○校内調査における「正しく手洗いをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査 97.1%）にする。</p> <p>○校内調査における「いつもハンカチを身につけている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。</p> <p>○校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査 94.0%）以上にする</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</b> 校内研究教科を昨年度に引き続き国語科とし、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、授業の充実と改善を図る。 (言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成))(「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別の支援の充実))	A
<b>指標</b> 校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合100%をめざす。	
<b>取組内容②【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</b> 計画的に系統立てた国語科のモジュール学習に取り組み、書く力へとつながる基礎・基本の定着を図る。 (言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成))(「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別の支援の充実))	B
<b>指標</b> 国語科のモジュール学習を週1回実施することで学力の定着を図り、大阪市小学校学力経年調査における言語領域の漢字(読み書き)の正答率を前年度以上にする。	
<b>取組内容③【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</b> 授業で学習したことを振り返ったり、深めたりするためにプラスノートを活用する。 (言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成))(「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別の支援の充実))	B
<b>指標</b> 校内調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習(予習・復習など)をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。	
<b>取組内容④【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</b> 理科の学習の中で、各学年の実態に合わせ、実験や観察などの体験的な学習を通して、興味・関心を高め、児童の参加感を大切にした授業の充実と改善を図る。 (理数教育の充実)	B
<b>指標</b> 大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(昨年度同調査79.4%)以上にする。	
<b>取組内容⑤【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</b> 大阪市の派遣事業による外国人講師(C-NET)と連携を図り、児童が英語に対しての興味・関心を高められる学習活動に取り組む。また、児童が前向きな気持ちで学習に参加できるよう授業改善を図る。 (英語教育の強化)	A
<b>指標</b> 英語による絵本の読み聞かせを各学期に1回以上実施する。また、校内で2回の公開授業を行い、授業改善につなげる。	
<b>取組内容⑥【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</b> 運動に親しむ機会を設けたり、用具の充実を図ったりして、進んで体力づくりに取り組めるようにする。 (体力・運動能力向上のための取組の推進)	A
<b>指標</b> 校内調査における「休み時間や体育の時間に楽しく体を動かすことができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準(前年度同調査91.3%)にする。	
<b>取組内容⑦【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</b> “朝ごはんの大切さ”を知り、朝ごはんを食べると生活リズムが整うことや、1日の活動(学習することや体を動かすこと)への充実につながることを理解する。 (健康教育・食育の推進)	A
<b>指標</b> “朝ごはんの大切さ”についての健康教育、食に関する指導を年間1回以上する。さらに、通信を1回以上発行し家庭へ啓発を行う。	
<b>取組内容⑧【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</b> 手洗いやハンカチを身につける習慣がつくよう強調週間を設定し、健康保持に対する意識を高める。 (健康教育・食育の推進)	A
<b>指標</b> 保健美化委員会が中心となり活動する強調週間を年間1回以上実施することで、健康保持に対する意識を高める。	

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 全市共通目標(小・中学校)

- 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は49.7%で、前年度水準(昨年度同調査41%)を上回っており、目標を達成できた。さまざまな学習活動で、対話を重視してきた成果であると考える。
- 国語科においては、研究教科や校内研修で授業改善を図ることができた。算数科においては、習熟度別少人数授業を実施し、きめ細やかな学習を推進することができた。その結果、大阪市小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる目標に対しては次の表の通りである。

<標準化得点 推移表 国語>					<標準化得点 推移表 算数>				
年度／学年	3年生	4年生	5年生	6年生	年度／学年	3年生	4年生	5年生	6年生
令和4年度	—	0.99	0.89	0.94	令和4年度	—	1.11	0.90	0.99
令和5年度	0.98	1.13	0.86	0.91	令和5年度	1.08	1.13	0.90	0.97
差	—	+0.14	-0.03	-0.03	差	—	+0.02	±0	-0.02

→同一母集団での標準化得点の前年度との比較で、前年度より0.02ポイント以上向上できたのは1学年のみであり、その他の学年では目標を達成することができなかった。

### ○【取組内容④】参照

- 大阪市小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が78.3%で、目標（75%以上）を達成できた。
- 体育の授業では運動やスポーツに興味・関心がわく取り組みを実践し、休み時間は担任が中心となり運動場で一緒に体を動かすことができた。大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合は71.9%であり、目標（72%以上）を達成できなかった。

### 学校園の年度目標

- 【取組内容①】参照
- 【取組内容③】参照

○体育の授業では、児童がスポーツに興味・関心をもつ取り組みを実践した。休み時間には担任が中心となり、運動場で一緒に体を動かすなど、運動に親しむ機会を継続的に推進した。その結果、今年度実施の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点は、全国・大阪市をともに上回った。

男子 (点)	本校	全国	大阪市	女子 (点)	本校	全国	大阪市
	53.07	52.59	51.13		56.17	54.28	52.67

- 【取組内容⑧】参照
- 【取組内容⑧】参照
- 【取組内容⑦】参照

取組内容①校内研修を通じ「主体的・対話的で深い学び」について追究し、授業改善を図っている。校内調査(1月・全学年実施)における「授業の内容はよく分かりますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が93.7%と非常に高かった。

取組内容②計画的に国語科のモジュール学習に取り組むことができた。また、定期的に取り組み内容の見直しも行うことはできた。しかし、大阪市小学校学力経年調査における言語領域の漢字（読み書き）の正答率は71.2%で、目標（81.9%以上）を達成できなかった。昨年度の調査に比べて問題の難易度が上昇（市平均が-8.9%）していることも原因と考えられるが、標準化得点換算でも2.7ポイントの開きがあり、課題であると考える。

取組内容③全学年でプラスノートを活用していることで、家庭学習に取り組もうとする意欲の向上を図ることができた。その結果、校内調査(1月・全学年実施)における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習など）をしていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合は75.2%であり、目標（50%以上）を達成できた。

取組内容④学習計画に沿って、児童が主体的に取り組むことができる実験や観察などの体験的な学習を、多く取り入れることができた。しかし、大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合は76.3%で、昨年度同調査(79.4%)を下回り、目標を達成できなかった。

取組内容⑤C-netと連携を図り、楽しく学習に取り組めている。また、英語絵本の読み聞かせを各学期に1回実施することができた。また、公開授業を通して、授業改善に取り組むこともできた。

取組内容⑥各担任の声かけや、学級での取り組みを通して、運動に親しむ機会を継続的に推進することができた。3学期は運動場工事があり、外に出て身体を動かすことができなかつたが、講堂を開放することによって運動に親しむことができた。外で身体を動かせない中実施した校内調査(1月・全学年実施)における「休み時間や体育の時間に楽しく体を動かすことができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は89.8%（前年度同調査91.3%）であり、前年度水準を保つことができた。
取組内容⑦“朝ごはんの大切さ”についての指導を、計画以上に実施できた。また、長期休業中には、朝ごはんカレンダーを配布し、家庭でも意識づけできるようにした。校内調査(1月・全学年実施)における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合は95.4%で、昨年度同調査(94.0%)を上回っており、目標を達成できた。
取組内容⑧学期に1回の「手洗い週間」や、クラスでの手洗い週間での目標作りを通して、手洗いへの意識づけを行うことができた。また、週に1日「ハンカチチェックデー」を設定し、ハンカチを持ってくることも意識づけすることができた。校内調査(1月・全学年実施)における「正しく手洗いをしている」に対して肯定的に回答する児童の割合が96.5%（昨年度同調査97.1%）で昨年度と同等水準だった。一方、「いつもハンカチを身に付けている」に対して、肯定的に回答する児童の割合は86.6%で、昨年度同調査(85.4%)を上回っており目標を達成できた。

### 次年度への改善点

#### 全市共通目標(小・中学校)

- 次年度以降も、授業改善や研修を重ね、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。
- 次年度以降も、きめ細やかな授業や支援に取り組み、基礎・基本の定着を図る。
- 次年度も、各学年の実態に合わせ、興味・関心が高まる理科教材の工夫や実践に取り組む。
- 次年度以降も、外国語への興味・関心を高める取り組みを図っていく。
- 次年度以降も、運動やスポーツへの興味・関心を高める活動を推進する。

#### 学校園の年度目標

- 学習への興味・関心はしっかりと高まってきているので、学ぶことへの意欲につなげられるように、さらに改善を図る必要がある。
- 【取組内容③】参照
- 次年度以降も、運動やスポーツへの興味・関心を高める活動を推進する。
- 【取組内容⑧】参照
- 【取組内容⑧】参照
- 【取組内容⑦】参照

取組内容①授業の内容を「わかりやすい」と感じている児童は多い。しかし、学習内容の理解が十分ではない児童も多く、基礎学力の定着を図る必要もある。

取組内容②視写や漢字の復習を取り入れるなど、取り組み内容の見直しを図ることができた。次年度も、基礎学力の定着を目指し、モジュール学習の充実を図っていく。

取組内容③校内調査の結果より、高学年になるにつれ、家庭学習に組むことに対する意識が低下する傾向があることが分かった。そのため、家庭学習の必要性を感じることができる取り組みを、継続していく必要がある。

取組内容④次年度も、実験や観察などの体験的な学習を通し、興味・関心を高められるような授業を行い、児童の参加感を高めていく。

取組内容⑤次年度も、各学年の学習内容の難易度を考え、英語に対する興味・関心につなげる取り組みを行う。

取組内容⑥学級でのみんな遊びの実施や、運動委員会の遊び紹介等の取り組みを推進する。また、遊び用具を更に充実させる。寒い時季には講堂を開放するなどし、運動に親しむ機会を設けるようにする必要がある。

取組内容⑦朝ごはんの栄養素の偏り（脂質・糖質が多くビタミンやカロテンが少ない）が見られるため、朝ご飯の質の向上を啓発する必要があつたり、朝ご飯を食べない児童がいたりするので、“朝ごはんの大切さ”について継続指導を行う。長期休業中でも、普段と同じように朝ご飯を喫食することの大切さについて、意識づけを図ることができるよう、引き続き次年度も声かけをしていく。

取組内容⑧手洗い週間などを継続して設定し、感染症対策を図るとともに、ハンカチを身に着けることにも重点を置く。給食前手洗い100%を目指す。

## 大阪市立東井高野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>全市共通目標（小学校）</b></p> <p>○校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を前年度（前年度同調査 82.9%）以上にする。</p> <p>○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80% 以上にする。また、学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に 3 日以上設定する。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○令和5年度の大坂市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 80% 以上にする。</p> <p>○「大坂市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校が連携をすることで、読書環境の整備と読書習慣の形成を図る。</p> <p>○令和5年度末の校内保護者調査における「学校は、学校だより・ホームページ等で、教育方針や教育活動の様子をわかりやすく伝えている」に対して肯定的に回答する保護者の割合を前年度水準（前年度同調査 97.3%）にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向番号6、教育DX（デジタルフォーメーション）の推進】（【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】）</b></p> <p>学習者用端末を用いて、スクールライフノートや発達段階に応じたデジタルコンテンツを積極的に活用する。また、児童の取組を隨時把握し、学級経営や学習指導にフィードバックさせる。 (ICTを活用した教育の推進) { (いじめへの対応) (不登校への対応) }</p> <p><b>指標</b> 日々の活動を毎日スクールライフノートに記録させる。学習場面では学習者用端末を活用し、それらの内容を活用状況に応じ適宜確認する。</p>	A
<p><b>取組内容②【基本的な方向番号7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>「ゆとりの日」を週1回以上設定する。年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80% 以上にする。また、長期休業中は計画的に休暇等取得する。学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に 3 日以上設定する。 (働き方改革の推進)</p> <p><b>指標</b> 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80% 以上にする。また、夏季・冬季休業日の閉庁日は 3 日以上設定し、教職員の健康管理を行い、働き方改革に努める。</p>	A
<p><b>取組内容③【基本的な方向番号8、生涯学習の支援】</b></p> <p>児童の読書のきっかけづくりを、「朝の読書タイム」などを通し、家庭・地域と連携して行う。また、家での読書時間を増やしていくよう、家庭への啓発を行う。 (「大坂市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組) (学校図書館の活性化)</p> <p><b>指標</b> 週1回以上「朝の読書タイム」を行うとともに、年間3回（各学期1回）の読書週間をすることで、児童の読書への意欲を高める。また、保護者にも「大坂市子ども読書活動推進計画」の取組の周知をし、地域・保護者と連携して読書ができるようにする。</p>	B
<p><b>取組内容④【基本的な方向番号9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</b></p> <p>地域と保護者の朝の見守り隊や読書読み聞かせ隊など、学校・地域・家庭が連携する機会を設ける。また、学校協議会、はぐくみネット事業が学校の運営に参画し、連携を深める。 (教育コミュニティづくりの推進)</p> <p><b>指標</b> 家庭には、教育活動の取組を毎月「学校だより」や、日々ホームページで配信し、参画できる機会を設ける。地域には、学校協議会やはぐくみネット事業が学校運営に参画できるよう連携を図る。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<b>全市共通目標(小・中学校)</b>	
<input type="radio"/> 【取組内容①】参照	
<input type="radio"/> 【取組内容②】参照	
<b>学校園の年度目標</b>	
<input type="radio"/> 令和5年度の大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合は73.4%であり、目標(80%以上)を達成できなかった。児童の読書習慣に2極化が見られ、日常的に読書をする習慣が十分ではない児童への、ソフト・ハード両面での働きかけに課題が残った。	
<input type="radio"/> 【取組内容③】参照	
<input type="radio"/> 【取組内容④】参照	
取組内容①毎朝のスクールライフノート「こころの天気」への入力や、学習場面でのデジタルドリル(ナビマ)などの活用を図ることができ、必要なフィードバックも毎日行うことができた。また、学校での学習者用端末の活用率も100%を維持している。校内調査(1月・全年生実施)における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合は88.0%であり、昨年度同調査(82.9%)を上回っており、目標を達成できた。	
取組内容②週1回設定した「ゆとりの日」が定着し、教職員の退勤時刻が早まった。また、長期休業中は夏季休業中に6日、冬季休業中に3日の閉学日を実施した。計画的に休暇等取得するよう働きかけた結果、年次有給休暇を10日以上取得できた教職員の割合は93.3%であり、目標(80%以上)を達成できた。また、働き方改革に努めることで、本校の時間外勤務時間も大阪市平均に近づいている。	
取組内容③年間3回の読書週間を計画通り実施することができた。また、図書館ボランティアや地域の読み聞かせ隊とも連携することで、読書への意欲を高めると共に、「大阪市子ども読書活動推進計画」を図書だよりで周知することで、保護者への啓発を図ることができた。	
取組内容④家庭には、教育活動の取組を毎月の「学校だより」や、日々のホームページで配信できた。ホームページのアクセス数も日々90~100をコンスタントに保っている。また、保護者には学校行事でのアンケートを実施し、教育活動に参画できる機会を設けることができた。校内保護者調査における「学校は、学校だより・ホームページ等で、教育方針や教育活動の様子をわかりやすく伝えている」に対して肯定的に回答する保護者の割合は94.7%であり前年度水準(前年度同調査97.3%)を保つことができた。学校協議会やはぐくみネット事業を通して、地域が学校運営に参画できるよう連携を図ることができた。	
次年度への改善点	
<b>全市共通目標(小・中学校)</b>	
<input type="radio"/> 次年度以降も、継続指導をし、一人一台端末の活用を推進する。	
<input type="radio"/> 【取組内容②】参照	
<b>学校園の年度目標</b>	
<input type="radio"/> 学校図書館の蔵書(デジタルも含めた)の充実を図るとともに、たてわり読書などの取り組みを継続し、児童の読書習慣の定着を図る。	
<input type="radio"/> 【取組内容③】参照	
<input type="radio"/> 【取組内容④】参照	
取組内容①毎日の「こころの天気」への入力が定着している反面、学習場面で使用する教材やアプリの活用方法に課題が残っている。より効果的な方法で、一人一台端末の活用頻度を高める必要がある。また、モジュール学習でも活用できるよう、取り組みをすすめていく必要がある。	
取組内容②次年度も、時間外勤務時間を減少させるために、行事、会議等の精選や内容の見直しをはじめとした業務の効率化を図っていく。また、校内でのフォローワーク体制を確立し、随時有給休暇を取得できるような組織づくりにも取り組む必要がある。	
取組内容③次年度以降も、「大阪市子ども読書活動推進計画」の周知をはじめとし、家庭での読書環境の充実も視野に入れた活動を行っていく必要がある。	
取組内容④引き続き、学校ホームページの、保護者、地域へのさらなる周知を図るとともに、地域とのより一層の連携を図れるよう、情報共有をはじめとした取り組みを推進する。	

